

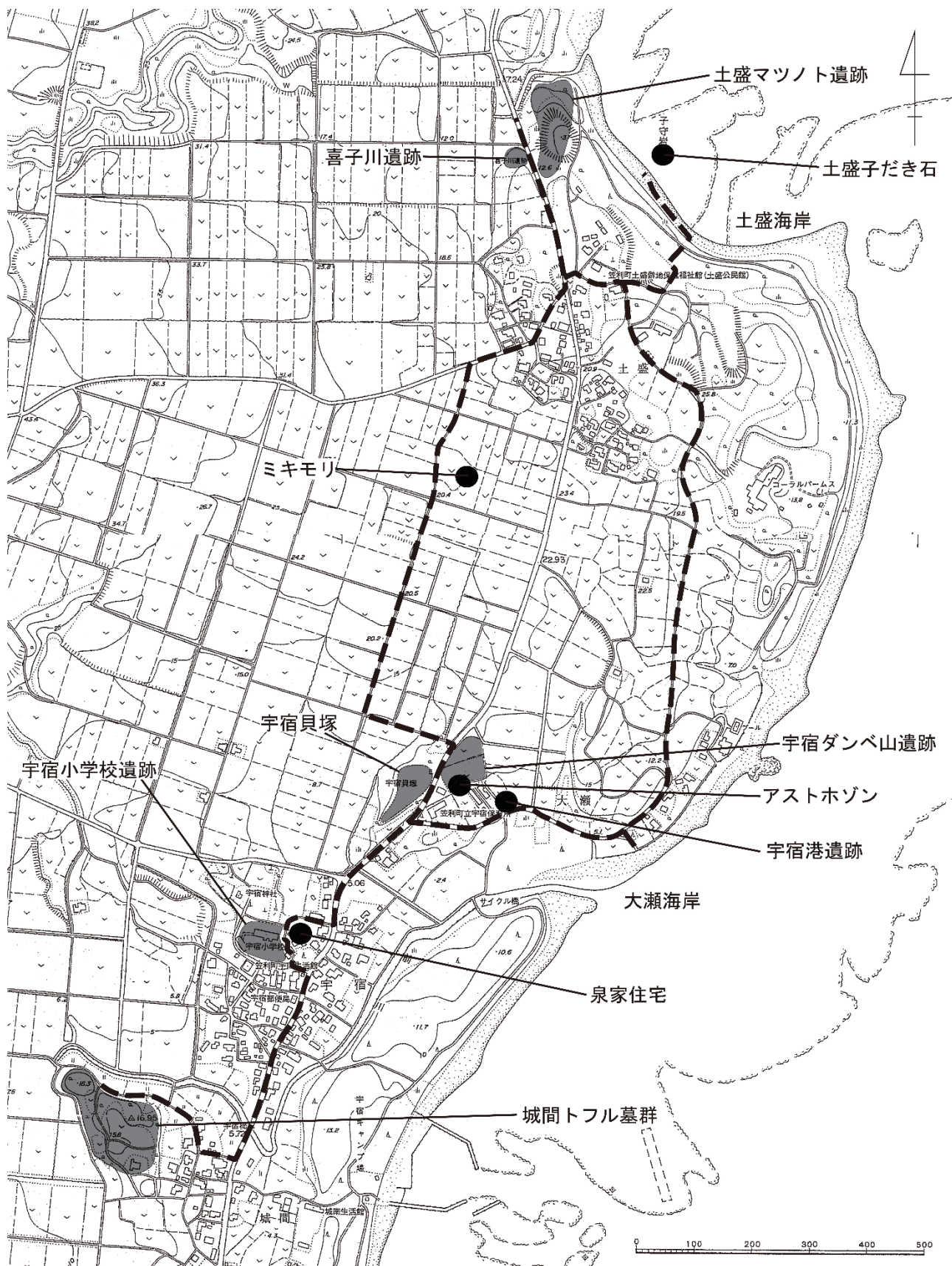


図 27 周遊ルート2「ゆったり文化財ウォーキング」



図 28 周遊ルート3「きままに文化財サイクリング」

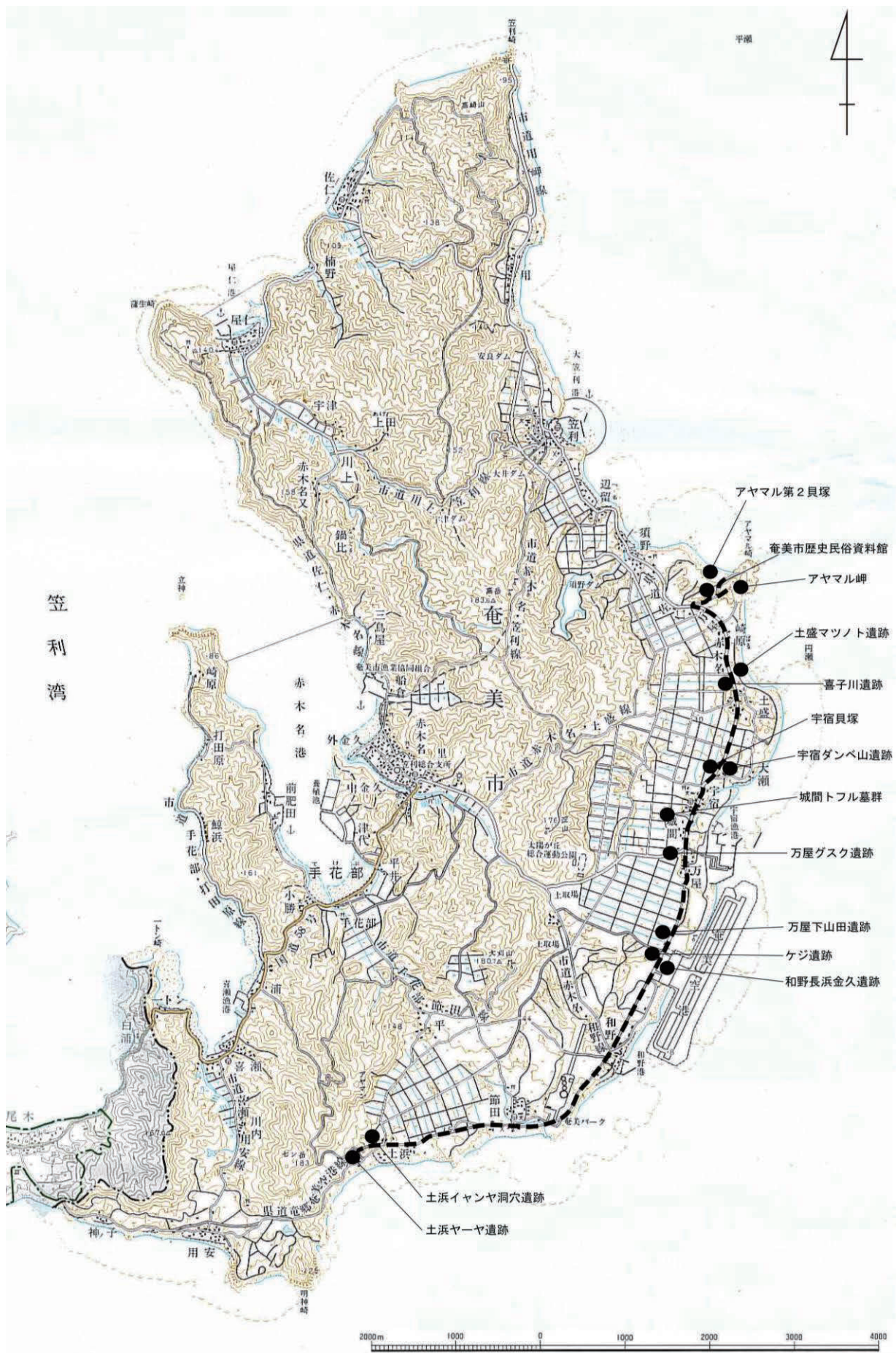


図 29 周遊ルート4「さくっと東海岸遺跡ドライブ」

（２）史跡を活かしたイベント開催

地元住民や市民と協働し、定期的に宇宿貝塚史跡公園内でイベントを開催する。イベント内容は、史跡の本質的価値に関するものを中心に、広く地域の自然・歴史・文化に関連付けイベントにし、それらを通して地域住民の活動拠点として史跡を機能させることを目指す。また、そのことにより、文化財の保存・活用について普及啓発を進めるとともに、市民・行政・事業者との協議を促す。

（３）宇宿集落で行われている自然観察会との連動

奄美大島は、海水浴等が盛んな夏期の観光が主となっているが、宇宿集落周辺で実施される自然観察会は冬が中心となっている。

宇宿集落の大瀬地区に所在する大瀬海岸は、奄美大島有数のバードウォッチングのポイントであり、主にシギ・チドリ類、カモ科等の渡り鳥を観察することができる。NPO 法人奄美野鳥の会が、毎年１月１日に「初日の出探鳥会」、１１月３日に「創立記念大瀬探鳥会」が、NPO 法人奄美野鳥の会により開催され、多くの人々が参加している。

また、宇宿漁港は、冬期に回遊してくるザトウクジラを観察するためのホエールウォッチングの出発港のひとつであり、人気の観光地となっている。

さらに、宇宿集落前面の砂丘地には、防風林としてトクサバモクマオウが植栽されている。そこでリュウキュウアサギマダラの集団越冬が毎年行われており、人気のスポットとなっている。

そうした自然観察会の主催者に対しても、史跡の周知を図り、参加者が史跡と景観の散策や周辺文化財群の周遊まで楽しみ、地域活性化に繋がるような仕組みづくりに取組んでいく。

6 観光振興における活用

奄美群島で初めて国史跡に指定された南西諸島を代表する遺跡の一つであることを情報発信し、ブランディングを図る。

史跡の価値と魅力を体感・共感できる周遊ルートの整備と体験プログラムの提供等により、史跡の来訪者の増加に繋げていく。周遊ルートについては、「地域振興における活用」で述べた史跡を活かした宇宿集落周遊ルートとリンクさせて、史跡の価値をよく理解できるように、①奄美群島、②奄美大島、③宇宿集落の３段階のエリア設定を行い、特色豊かな奄美群島の史跡群が持つ歴史世界を楽しめるように工夫し、群島間や地域間の交流人口の増大を図る。

特に、史跡等に関心の薄い島内外の来園者に対しても、史跡に誘導できるような多様で魅力的な活用プログラムの提供を目指す。

周遊の地域設定	地域	史跡及び関連遺跡	博物館
奄美群島における 関連史跡の周遊	喜界島	国史跡「城久遺跡」	
	奄美大島	国史跡「宇宿貝塚」 国史跡「赤木名城跡」 国史跡「小湊フワガネク遺跡」	
		国史跡「面縄貝塚」 国史跡「徳之島カムイヤキ陶器窯跡」	
	沖永良部島	国史跡「住吉貝塚」	
奄美大島における 史跡と関連遺跡 及び博物館の周遊	奄美市 笠利町	用ミサキ遺跡 用安良川遺跡 アヤマル第2貝塚 土盛マツノト遺跡 喜子川遺跡 国史跡「宇宿貝塚」 市史跡「宇宿高又遺跡」 宇宿小学校遺跡 国重要文化財「泉家住宅」 県史跡「城間トフル墓群」 万屋下山田遺跡 長浜金久遺跡 国史跡「赤木名城跡」 喜瀬サウチ遺跡 市史跡「土浜イヤンヤ洞穴遺跡」 国登録有形文化財「菌家住宅」 国登録有形文化財「旧安田家住宅」 用安ニャトグスク遺跡	奄美市 歴史民俗資料館
	龍郷町	ウフタ遺跡 手広遺跡	りゅうがく館
	奄美市 名瀬	浦上有盛遺跡 大熊大里遺跡 市史跡「朝仁貝塚」 朝仁アマンギョ遺跡 根瀬部集落遺跡 伊津部勝ターグスク遺跡 名瀬勝ハーゲ遺跡 小湊ナーデ遺跡 国史跡「小湊フワガネク遺跡」	奄美市立 奄美博物館
	奄美市 住用町	城サモト遺跡 城カネクダ遺跡	原野農芸博物館
宇宿集落における 史跡と周辺文化財群の周遊	集落外	国史跡「宇宿貝塚」 市史跡「宇宿高又遺跡」 フースィ石	
	集落内	国重要文化財「泉家住宅」 市史跡「宇宿高又遺跡」 宇宿小学校遺跡 宇宿神社 アストホゾン 宇宿トフル墓	

表 32 史跡及び関連遺跡・博物館と周遊ルート設定の考え方

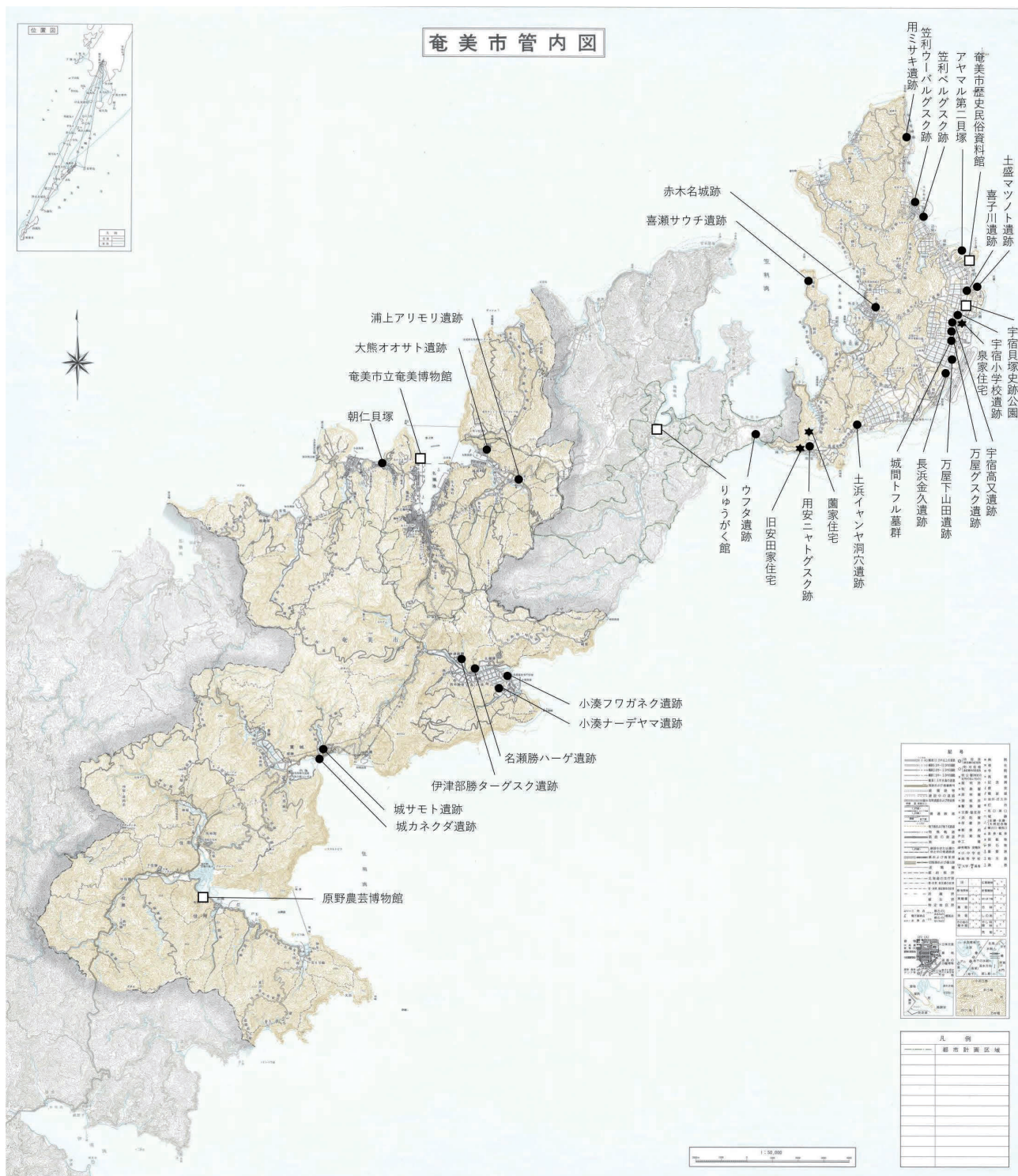


図 30 奄美大島における史跡と関連遺跡及び博物館の周遊

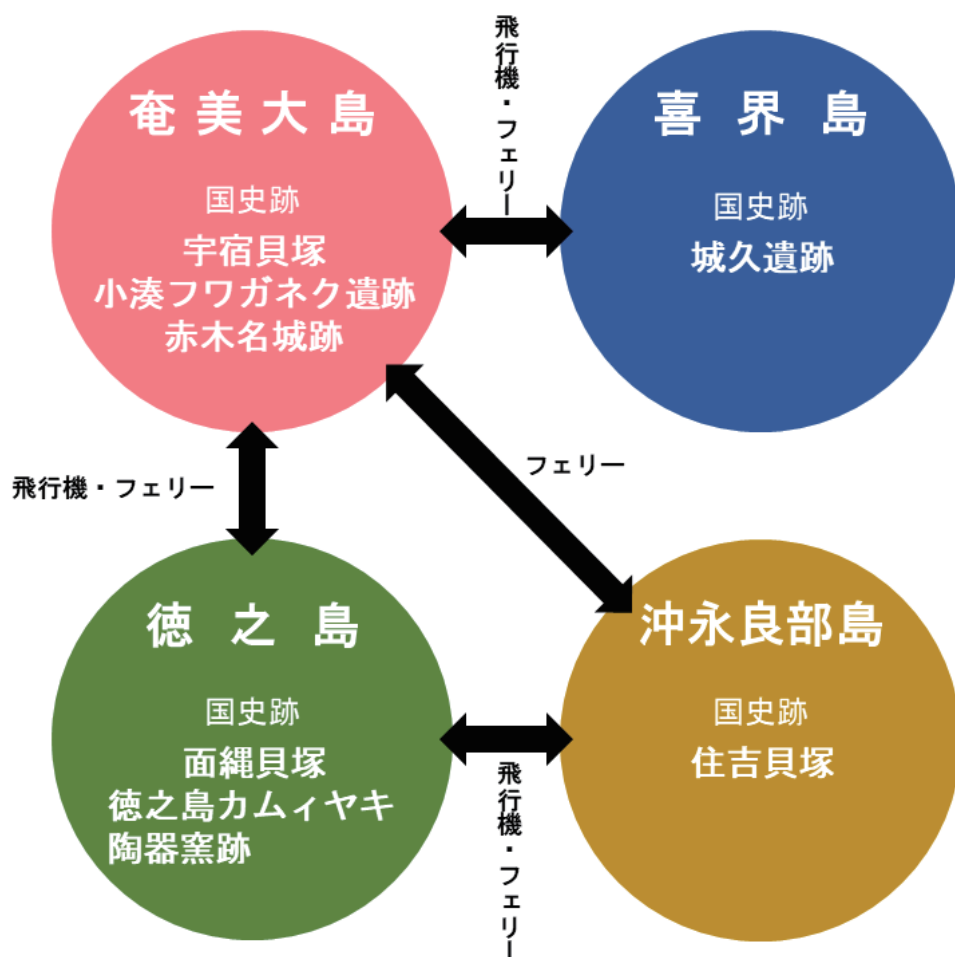


図 31 奄美群島4島における関連史跡の周遊

7 官民連携事業（PPP/PFI）における活用

本市では、令和4年度より奄美市総務部プロジェクト推進課に官民連携推進室が新設された。従来の公共サービスのすべてを公共で担うことを前提とするのではなく、民間事業者の資金やノウハウを公共サービスに活用することを視野に入れ、官民連携を推進することで民間事業者の地域における活躍の場が創出され、経済活動の活性化や行政における業務負担及び財政負担軽減が期待されている。

宇宿貝塚史跡公園では、本市文化財課（行政）によって活用が行われており、現在民間事業者によるPPPの活用は図られていない。全国的に実施されている史跡に関するPPP事業は、史跡公園の管理運営業務や博物館等の整備事業が中心となっており、その他、ミュージアムショップやレストラン等が導入されているところもある。

史跡においても、奄美大島の北部振興や史跡公園来園者の増加等のニーズに基づきながら、史跡の価値を最大限に伝えるノウハウや効率的な活用・整備・運営等に対し、民間活力の活用を検討していく必要がある。

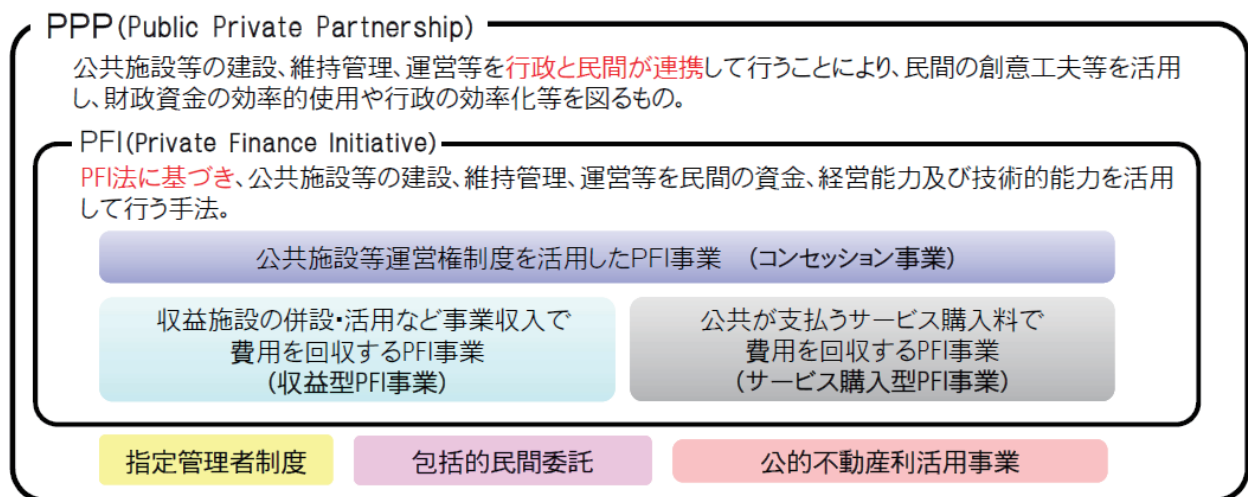


図 32 官民連携事業 (PPP/PFI) の概念

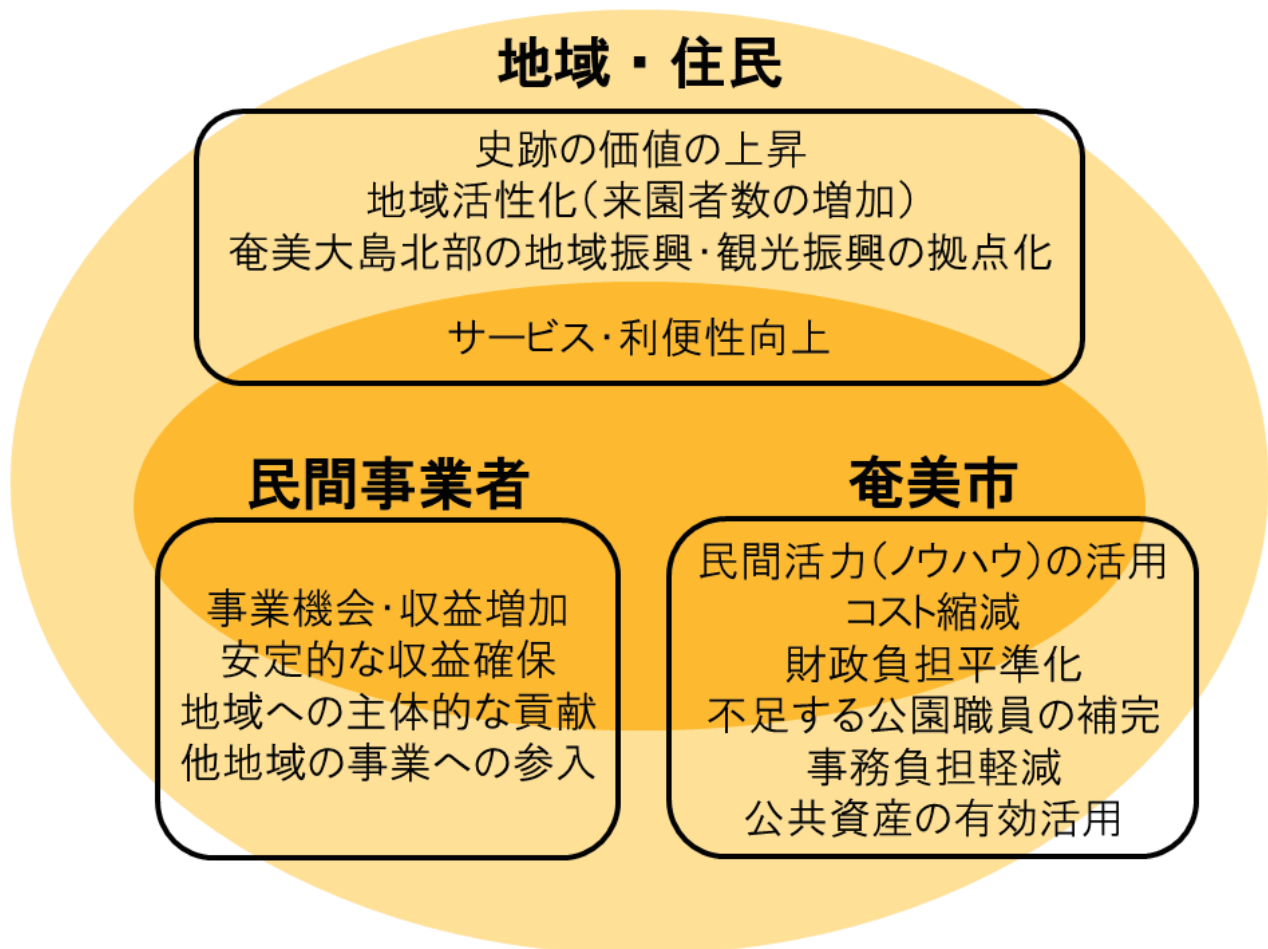


図 33 史跡宇宿貝塚における PPP/PFI の効果